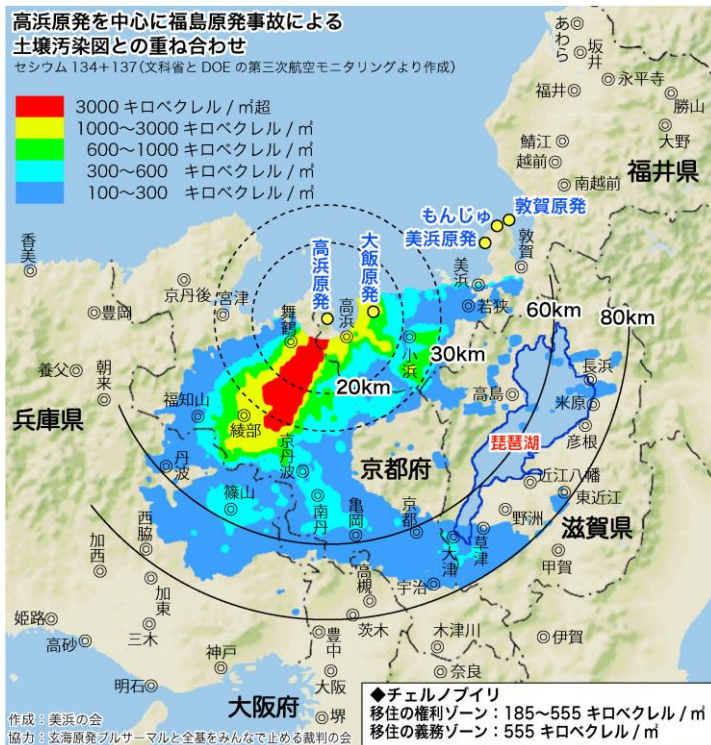


「プルサーマルの独自の審査基準は必要なし」(規制委)・・・これで安全性を確認できるのか？！

# 高浜原発 3・4号の再稼働を止めよう！

福島第一原発・・・汚染水の海洋流出を放置 規制委は責任をとれ！再稼働審査を中止せよ



福島原発事故から4年。約 12 万もの人々がいまま困難な避難生活を強いられています。また、多くの子どもたちに甲状腺がんが確認されるなど、健康影響は深刻さを増しています。

それにも関わらず、政府は福島原発事故などなかったかのように、再稼働の動きを強めています。

関電は、高浜原発 3・4号を夏頃にも再稼働させようと狙っています。規制委員会は「審査書」を確定し、基本設計にお墨付きを与えました。高浜原発の再稼働ではプルサーマルが実施されます。「新基準の適合性を判断」と言いながら、プルサーマルの基準はありません。MOX 燃料はウラン燃料より核暴走の危険性が高いことを、規制委も事実上認めています。それにも関わらず、パブコメに対する回答で「プルサーマルの独自の審査基準は必要ない」と居直っています。これでは、安全性が確認されたとは言えません。

3月20日は、佐賀地裁で玄海原発プルサーマル運転差し止め裁判の判決です。MOX燃料とウラン燃料の違いが認められれば、高浜原発の再稼働にも影響してきます。

福島原発事故は継続中です。福島第一原発では、高濃度の汚染水が排水路を通じて海洋に流出していたことが2月に発覚しました。東電は一昨年 11 月から把握していながら、昨年 1 月になって規制委員会の汚染水対策会議でこのことを報告しました。しかし、規制委は海洋流出を止めるための具体的な対策を要求することもなく放置してきました。東電は昨年 4 月から排水路の放射能測定を実施していましたが、データは隠ぺいしていました。この無責任な事態に対し、全漁連は、全ての排水路からの放射能流出を早期・完全に防止するよう求めています。

高浜原発や川内原発の審査では、汚染水対策は中長期の課題としてしまい、「適切な対応を検討できる体制を整備する方針」であることを確認しただけで、「合格証」を与えています。規制委員会の責任を追及し、再稼働審査の中止を求めましょう。

# 再稼働の同意権は、約30km圏内の福井・京都・滋賀、関西一円にもある

## 住民説明会を実現させ、再稼働反対の声を強めよう！

### 原発から約30km圏内に約25万人 半数以上が京都北部の住民

高浜原発から約30km圏内には、福井・京都・滋賀<sup>\*1</sup>の約25万人が暮らしています。京都北部の住民は、福井県の住民の2倍以上です。舞鶴市の一部は5km圏内にもあり、舞鶴市・宮津市は全市民が避難となります。

福井県知事と関電は、再稼働の判断は、福井県と高浜町だけで充分と言っています。しかし、事故の被害を受け避難を余儀なくされる30km圏内と関西一円の自治体・住民の意思が尊重されるべきです。関西一円1,300万人の命の水瓶である琵琶湖が汚染されれば、影響ははかりしれません。

[<sup>\*1</sup> 京都府7市町：福知山市・舞鶴市・綾部市・宮津市・南丹市・京丹波町・伊根町、滋賀2市：長浜市・高島市]

● 高浜町長・住民説明会は開かず  
規制庁に制作を依頼し、約30分のビデオをケーブルテレビで放映し、説明会の代わりとしています。規制庁が高浜原発の審査結果を説明するビデオですが、そこには「ブルサーマル」は一言も出てきません。これで住民に納得せよとは、ひどすぎます。事故になれば最も被害をうける地元住民への説明責任さえ果たしていません。

### 高浜原発から約30km圏内の京都・滋賀の市町議員アンケート結果（2月26日公表）

#### 約9割の議員が、少なくとも30km圏内自治体で同意権と住民説明会が必要と表明

「若狭の原発周辺住民ネットワーク」は、京都府7市町・滋賀県2市の180名の議員にアンケートを送り97名から回答を得ました（回答率54%）。議員の意思を尊重すべきです。

- 再稼働の同意権について  
福井県と高浜町だけでいいと回答したのは、わずか6名  
概ね30km圏とそれ以上の地域でも必要を合わせると85名（88%）
- 住民説明会について  
必要なしと回答したのは、わずか4名  
概ね30km圏内とそれ以上の地域でも必要を合わせると83名（86%）

#### ● 高島市や綾部市も住民説明会の必要を表明

「避難計画を案ずる関西連絡会」は、避難元の自治体への申し入れを続けています。その中で、高島市は、国や関電に対し住民説明会を求めていくと回答しています。また、綾部市は、2月5日の申し入れで「京都府を通じて、規制委員会に住民説明会を要請した」と表明しました。舞鶴市長も記者会見で住民説明会は必要だと述べています。宮津市議会は、昨年末に、同意権と住民説明会を求める意見書を全員一致で採択しました。

各地で住民説明会の開催を求め、再稼働反対の声を強めていきましょう。議員・議会、自治体に働きかけていきましょう。

